宮崎県公立高校入試徹底分析【理科】

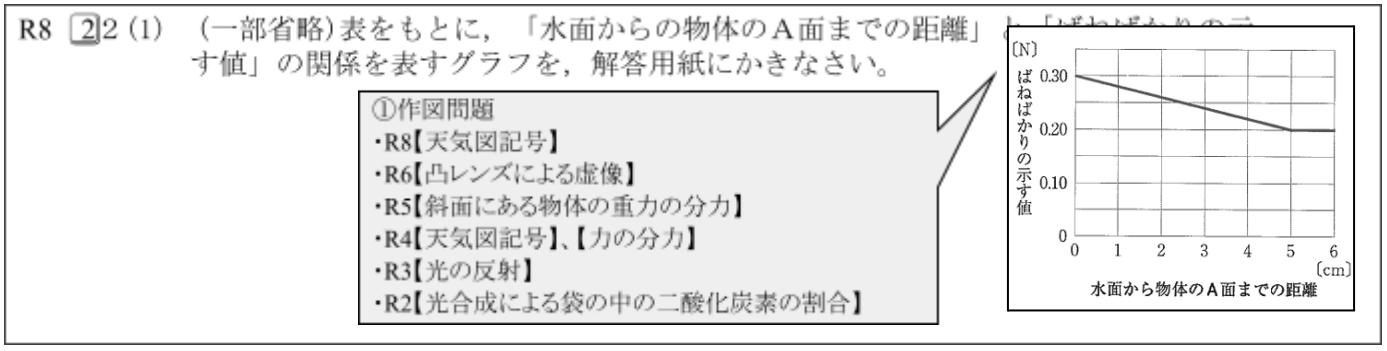
【形式・難易度】

試験時間	50分	配点	100点
問題構成	大問8題。物理、化学、生物、地学の各2題ずつバランスよく出題。 平成31年度から、対話形式・図や表などを多く取り入れ、思考力・読解力を問う問題が増えてきている。図や表の挿入にともない、問題のページ数は平成30年度から比べると、約2倍の量に増加した。		

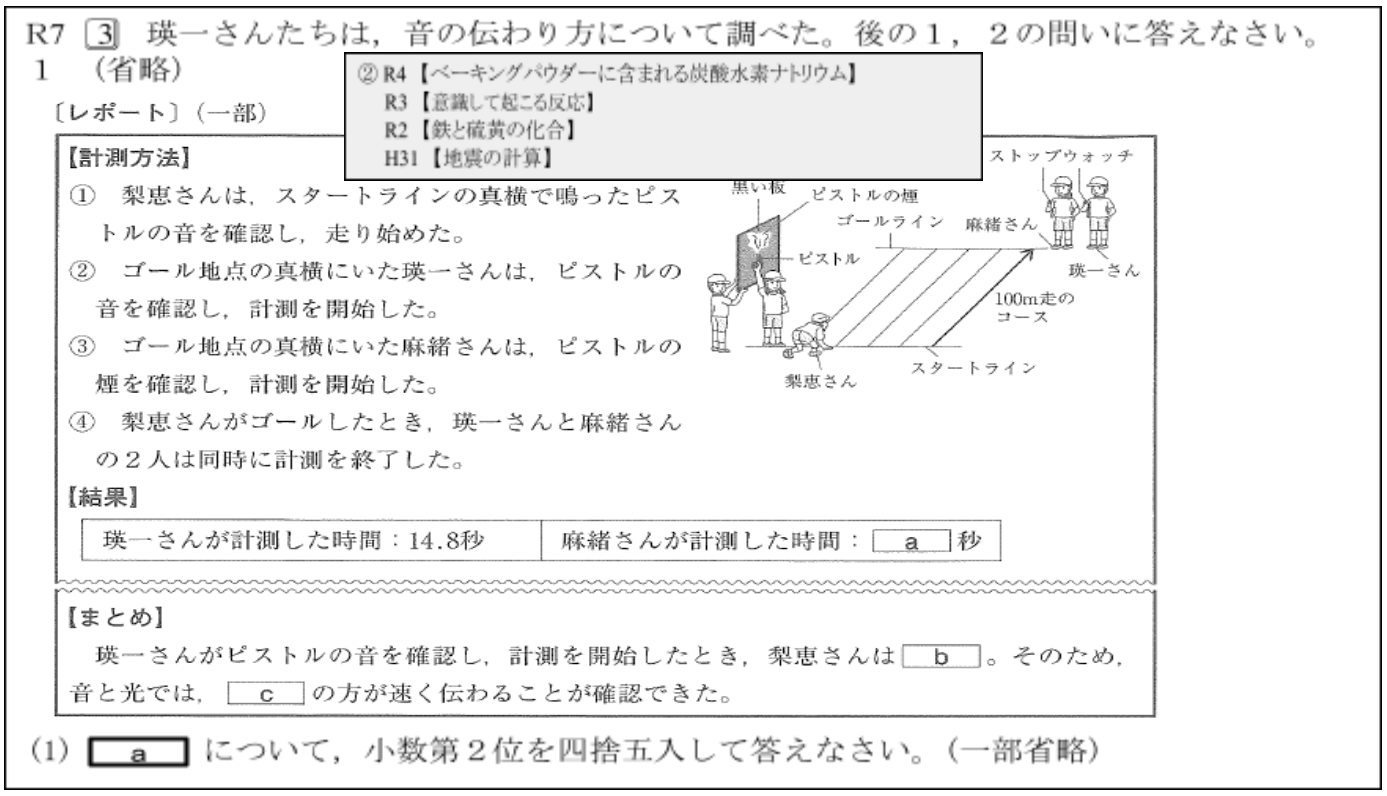
	令和8年度(2026)	令和7年度(2025)	令和6年度(2024)	令和5年度(2023)	令和4年度(2022)
問題量(A4で)	15ページ分	15ページ分	15ページ分	15ページ分	15ページ分
小問数	43問	38問	39問	37問	37問
論述問題の数	2問	2問	2問	3問	4問
論述問題配点	5点	6点	6点	10点	12点
※合格者平均点	未判明	59.7 点	53.4点	59.8点	53.7点

【出題の傾向と対策】

① 基本的な図をかかせる問題「天気図記号」「力の作図」「凸レンズによりできる像の作図」が出題されるので，練習をしておこう！



② 計算問題は，公式にあてはめて解く問題がほとんどだが，思考力を問う問題も1～2問出題されるので，いろいろなパターンの計算問題の練習もしておこう！



③　記述・論述問題は，実験の結果や表・図から考察させる問題・日常生活での実体験などの問題が出題されるので，なぜ？そのような結果になるか考察力を身につけよう！

〔**H31** 5③ **R2** 3②(2) **R3** 5①(3) 8②(2) **R4** 2①(4) **R6** 8③ **R7** 5問**3** など〕

④ 近年，正誤問題も単なる教科書の暗記だけでなく，実験の結果・考察から考えさせる問題も多数出題されるので，しっかり実験内容の把握を！

R2 6

4　(問題文一部省略)

［①］をはじいて出る音の高さは，［②］をはじいて出る音の高さより高いと考えられる。その理由は，［③］からである。

【［①］，［②］に入る振動部分】

ア　a b部分　　イ　b c部分

ウ　d e部分　　エ　e f部分

(③選択肢省略)

④ 弦の長さ・太さ・張りによる音の性質の理解はもちろんのことながら，実験の内容読解がもとめられる。

図5

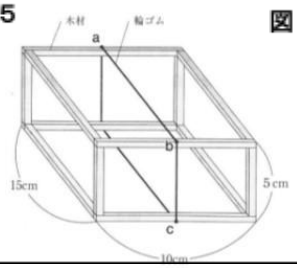
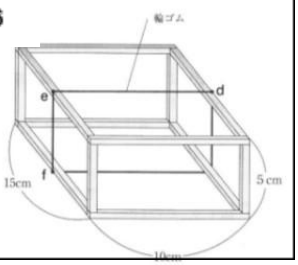


図6



⑤ ほぼ毎年の割合で，化学式・イオン式などが出題される，確実に解答できるように！

R8 5①　問題文省略

⑤ 基本的な化学式・イオン式や化学反応式は確実に暗記しておく。

【まとめ】

実験Ⅰにおいて，陰極側で発生した気体は［c］であり，塩酸を電気分解したときの化学変化は，［d（　→　＋　）］で表される。

そのため，陽極側では，陰極側で発生した［c］と等しい体積の気体が発生していたと考えられるが，［e］ことから，装置にたまる量が少なかったと考えられる。

(3)　まとめの［d］について，塩酸を電気分解したときの化学変化を化学反応式で答えなさい。

⑥ 会話文などの穴埋め形式の記述問題は，毎年出題されているので，会話の前後の流れから適切な内容が書けるようにしておこう！

H28 3

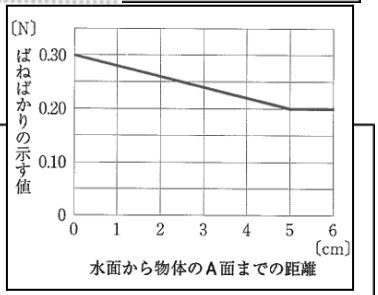
1（3）　裕二君は，イモリとヤモリの特徴を比べ，生活の場所との関係を，次のようにまとめた。

［ア］にはイモリ，ヤモリのどちらかを入れ，［イ］には適切な内容を入れなさい。

〔まとめ〕

イモリとヤモリでは，［ア］のほうが，より陸上生活に適した特徴をもっており，特に，［ア］の卵や体表は，卵の内部や体内が［イ］つくりになっている。

⑥〔まとめ〕の空欄に入るように，適切な語句・キーワードとなる語を入れ，前後の文章も考えながら答える。



解答　R8 2②(1)　右図

R7 3①(1)　15.1(秒)

R2 6④ 組み合わせ　① イ ② ア ③ B　　① イ ② ウ ③ E

① イ ② エ ③ C　　① エ ② ウ ③ B

R8 5①(3)　$2HCl \rightarrow H_2 + Cl_2$

H28 3①(3)　ア　ヤモリ　イ　(例)乾燥しにくい